

麻酔科この一年

麻酔科医長 櫻井 行一

診療体制

平成17年3月に当院2年間の勤務を終えた河本瑞穂が北海道がんセンターに転勤となり、同年4月に、大友重明（3年目）が旭川医科大学から赴任しました。昨年度より研修医として勤務している神田浩嗣（3年目）が継続勤務となり、平成16年10月からの4人体制が維持されています。本年度は新臨床研修医の救急・麻酔研修として5人がローテーションしました。中谷真紀子（3ヶ月）、山口高志（1ヶ月）、塩谷隆太（3ヶ月）、大門伸吾（3ヶ月）、稲垣泰好（3ヶ月）、の研修が終了しています。

手術麻酔

本年度の麻酔科による管理症例は1500例を始めて超えました（昨年度は1382例）。本年度も、4人体制が維持でき益々充実した麻酔管理ができたものと自負しております。皆様のおかげで大きな事故もなく一年が過ぎたことに感謝しています。

外来診療

当院でも緩和医療チーム（院内病棟型）が結成されて、ペインクリニックに関しても多くの課題が挙げられた年でした。また外来看護師が行っている帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛の看護研究に関し

ては、さらに協力できるよう次年度は努力したいと思えます。外来患者数は例年どおりでしたが、神経因性疼痛の新患が多く受診されました。

学会活動等

平成17年は学会・研究会での発表は計16題で、投稿論文は計8題の掲載がありました。

詳細は業績集をご覧ください。

教育活動

本年度も上川北部の救急救命士を対象とした研修を行いました。生涯教育に関しては、本年よりカリキュラムを変更して、毎週月曜日に各署より1名受け入れることにして、手術室研修・宿泊研修を1日行う体制と致しました。本年も救命士が2名誕生（名寄・中川）したため就業前研修を2ヶ月間行いました。また気管挿管実習も行われ2名の救命士が資格をとることができました。各実習に協力いただいた診療科・看護部など多くの部署にこの場を借りて感謝いたします。

昨年5月より始めたBLS+AED院内講習会は、本年も定期的に行うことができ計9回行うことができました。また道北地区で初めてとなるICLSコースが館岡医師・神田医師を中心として開催されました（10月）。今後も院内で救急講習を行いますので職種を問わず是非参加してください。